

学びを通じた被災地のコミュニティ再生支援事業
大船渡市「デジタル公民館まっさき」 平成 26 年 9 月活動報告

スタッフ・アンケート結果(8名(10名中))

あなたの性別を教えてください。

男性	7名
女性	1名

あなたのメンバー区分を教えてください。

KK2 メンバー	5名
Web 会員	2名
一般	1名

あなたの年代を教えてください。

20 歳未満	0名
20～34 歳	1名
35～49 歳	3名
50～64 歳	3名
65 歳～	1名

KK2 プログラムへの参加回数を教えてください。

初めて	1名
2 回～4 回	0名
5 回以上	1名
10 回以上	6名

今回の活動への参加動機・目的・趣旨は何ですか。また、それに対する達成度や満足度を教えてください。

とてもよかった	0名
よかった	6名
どちらでもない	1名
あまりよくない	0名
よくない	0名
未回答	1名

改善点やご意見があればご記入下さい(自由記入)：

- ・ 地域のコミュニティづくりや活性化について、地域外のボランティア団体が、いかに関わり貢献してゆくのか、その活動の遂行を通して学び、我が国に共通する地域問題の解決に実装・展開するための情報を収集すること。
地域問題とは、少子・超高齢・多死・過疎等であり、育児・介護・宗教・ネオコミュニティ、地場産業振興であり、このうち今回は宗教と消防団について学び考える機会が提供され、非常に有意義なものであった。
- ・ 1) 消防団の方々に関わるプログラムということで、本事業の真価が問われる面もあった。地域の人と消防団の当事者、関係者が、消防団の今、これからを一緒に考え、協力していくきっかけをつくりたかった。
2) 「ごいし民俗誌」の中味について調査・執筆を担当した専門家からのお話を聞きたかった。
3) 上半期活動を踏まえ、下半期活動の要望など、現地の方々の考え、要望をうかがう"
- ・ ミッション：末崎在住者ニーズに沿った学びを通じて、末崎地区コミュニティのレジリエンス・文化力を向上する。
達成度：(1) 緒についたばかり点数 20 点。(2) 依木先生と住民の活発な議論となり点数 60 点。

満足度：(1) 消防団員 90 数名中 10 数名の参加だったが、分団長の「全員参加させたかった」との発言で 50 点。(2) 碓石民俗史の勉強会としては 80 点、地域だけで継続できるか？今後の進め方が難しい。

- ・ 2011 年から大船渡市の被災者支援の動きを調査しています。緊急支援から長期的な復興へとステージが移っていくなかで、なるべく幅広い視点から被災地の現状を見直してみたいと思い、末崎地区で活動を重ねてこられているデジタル公民館のプログラムに参加させていただきました。現地のいろいろな方と交流する機会をいただき、とても勉強になりました。
- ・ 社会教育の場としての公民館活動を学びたい。地域情報発信への要望を確かめたかった。
プログラムをこなすのに精一杯で、現地の需要を聞く機会を作れなかったのが残念でした。
- ・ 今年度はスタッフとしての専門性を求められる中、自身が要件を満たしているとは思いませんが、平日でもお手伝いできるので参加を希望しました。参加するからには、複数回の参加で関わって来た方との交流を大切にしたいと思い活動に臨みました。結果、これまで出会った方との再会に加え、新たな出会いもあったことが良かったです。
- ・ 参加目的：2 講座の収録・編集・公開、よろず相談の相談員。
収録達成度：満足度：達成度 20%（編集・公開が未着手）
よろず相談達成度：満足度・達成度 5%（相談者が少なかったため）

PC ネットよろず相談についていかがでしたか？

とてもよかった	0 名
よかった	4 名
どちらでもない	1 名
あまりよくない	2 名
よくない	1 名

改善点やご意見があればご記入下さい(自由記入)：

- ・ 難題解決に向け皆で知恵を出し合い最善の方策を見つけたことができたことがとても良かった。
- ・ 参加される方が固定化し、スキルが向上し、質問内容が具体的であり、効果的なものとなってきていることを実感した。
 - ・ 参加者数の増加が期待されるが、対象範囲の居住者の PC 及びインターネットユーザの分母が不明なため、いたずらに量的拡大施策を講じるには慎重な対応が必要であるが、一定以上の①調査、②告知は必要でないか
 - ・ k k 2 参加者の待機者及び待機時間が長く、稼働率が低いものとなった。来場者人数の状況に応じた同時並行プログラムも検討し、スタッフの稼働率の向上を高め、地域貢献度及びスタッフの満足感を高める施策の実行が課題である。
 - ・ 来場参加者及び k k 2 スタッフ間で情報共有するために、来場者の質問事項を、ホワイトボードに掲載及びプロジェクトへ投影してはいかがでしょうか。
 - ・ パソコン・ネットよろず相談やパソコン・ネット学習の Q & A を文書すると、一般の方が PC 及びインターネットのどのような点に興味を持ち、どのような点に悩むのかが分かり k k 2 スタッフの対応マニュアルにもなるのではないか。
- ・ はじめての平日実施ということで、参加人数は少なかったが、中身の濃いサポートができたのではないか。経験者から初めて参加したいという人がいる、という電話があったが、平日は働いていて参加できないというケースが 2 件あった。
対象者が広いパソコンよろず相談の実施日は土日の方がよいようだ。
- ・ 参加者が少ないのはニーズが少ないのか？ウィークデイだからなのか？見極める必要がある。
 - ・ まっさきでブログを書いている人に、その思いを話してもらおう場を設け、そのブログの読者を増やすとか、新たにブログやりたい人を増やすことをしたらどうだろうか。スマホの使い方もメニューに加えたらどうだろうか。"
- ・ 「PC ネットよろず相談」の枠組みに限界を感じてきている。特定の方を対象にした情報発信プログラムや、公民館や消防団などの特定のグループに対する場に切り替えるようにしたかったが、それらに対する需要を掘りおこすこともできず、悩ましい。
- ・ 全般に言えますが、スタッフも参加者も固定化しつつあり、ダレて来ている雰囲気を感じます。仮設から自宅へ徐々に移られていると、2 か月に 1 度のペースでは相談したいことができないこと、当初の有難味が薄れてきていること、さらには平日であること等が理由でしょうか。今のままの継続は厳しいと思うので、宣伝強化による利用者増を目指す方向か、PC 教室連携による現地化、もしくは住民学びあい型への移行等、検討できると思います。
- ・ ウィークデーは相談者が少ないことは予測されていたが、スケジュールの都合でやむを得ない仕儀と理解している。今後も同様のことが予測されるため、WEB 上で学習するなど、通信教育的な取り組みも必要と思われる。現地活動はオフライン・ミーティング的な位置づけにすればどうでしょうか？

第二回「ごいし民俗誌」勉強会についていかがでしたか？

とてもよかった	2 名
よかった	6 名
どちらでもない	0 名
あまりよくない	0 名
よくない	0 名

改善点やご意見があればご記入下さい(自由記入) :

- ・ 研究者と地域住民の方が、研究成果物である「ごいし民族誌」について時代考証を進めてゆく進行は、プログラム実行時間が時空を超えたミステリーツアーのようであり、k k 2 が標榜する「共に学ぶ」瞬間であった。k k 2 の企画力の素晴らしさが再認識された。会場に同席した k k 2 参加者は、研究者及び地域の方々との情報の非対称があり、傍観的聴講者となったが、参加型のプログラムに昇華させることも課題としてあげられるのではないか。
- ・ 1) 「ごいし民俗誌」作成の経緯と趣旨、位置づけがよくわかった。
2) 震災と民俗学の関わりについてのお話もよかった。
3) 熊野神社 社地の絵図の謎解き、とても興味深かった。
4) 地域で継続して民俗誌をバージョンアップしていくアドバイス良かった。
5) 地域の各々の家や各自の心に残されている記録や記憶をこうして冊子化(見える化)することによって、新しい発見やアクションが起こりつつある。地域の方々のふるさとを記録し次世代へ伝えていききっかけづくりになるのでは。
- ・ 依木先生の話される内容がチラシにほとんど書かれていない。事前に掴み教宣していれば参加者が増えるのでは？
- ・ プログラムの企画としては、碁石ローカルの話を、広くまっさきの人にも関心を持ってもらう、工夫が必要ではないか。
- ・ 専門家らしいお話を伺えてためになった。地元の方も盛り上がる興味深いお話をいただけて良かった。事前に打ち合わせをし、プログラム全体の流れや時間配分が分かるようにしておくべきだった。
- ・ 興味深い内容で満足度の高い講義でした。本活動の意義からすると良かったとは思いますが、より地域のことを考えるなら、町の大きなホール等で地元の方を大勢集めて開催されるレベルだろうと感じました。
- ・ 民俗学に興味のある聴衆には興味深い内容だったと思う。そうでない人には、インタビュアーのような役割を持った人を配した対談や鼎談形式も、今後はありえるのではないか。

「絆づくりと地域を守る消防団」についていかがでしたか？

とてもよかった	1名
よかった	6名
どちらでもない	1名
あまりよくない	0名
よくない	0名

改善点やご意見があればご記入下さい(自由記入) :

- ・ ワークショップとしてとても内容の濃いものでした。
- ・ (1)対象者の設定と受講者及び受講者の目的意識に乖離があったのではないか。
(2)プログラム時間に占めるアイスブレイクの時間が長く、プログラムの主旨を分かりにくくしたのではないか。
(3)自らの生計を支える生業を持ちながら、地域防災のための消防団活動をされる方々に対して、消防団の使命と活躍に、より敬意を払うと、参加された消防団の方々に充実感とさらなる使命感と誇りを持って頂ける事に寄与できたのではないか。
- ・ 1) 消防団員と地域の方々が場を共有し、消防団や婦人防災クラブのこれからを考えるきっかけになったのでは。
2) 団長、副団長らの呼びかけで現役消防団員の方が 10 数人制服で参加してくれた。婦人防火クラブなど女性も参加していただき、良かった。
3) 鎌田教官のプログラムも一緒に学び交流する内容で、楽しめる要素が盛り込まれており、参加者を飽きさせず、引きつけ、リードしていくものでさすがだった。
4) 消防団を支える地域の取り組み事例を知ることができよかった、消防団員が地域で評価されたり、尊敬される地域づくりは大事だと気づかされた。
- ・ 鎌田教官の繰り出すプログラムを事前に掴み、こんなことをやるということが事前に教宣されていれば、もう少し参加者が広がったのではないか？
消防士の教科書にもなっている「消防筋肉」を資料として参加者に配布したい。
- ・ 消防関係以外の一般の方も楽しんで参加できる内容だった。すぐ実践できる分かりやすい事が多く、ためになった。今回は、消防団・婦人防火クラブの方々が中心に集まったが、その方々の需要に応じていたか今後要確認。
- ・ 賛否ありましたが、私が熟慮無くまずは動くことを良しとする性格であることを差っ引いても、新たに現地の団体と繋がりができたことは良かったと思います。今後は、団長の思いや課題認識だけでなく、若い団員の考えも聞く場を設定し(あまり大々的ではなく、砕けた感じがいいと思います)、地域と消防団の連携の手伝い方を模索でき良いのではないのでしょうか。
- ・ 地域の人が消防団の意義を改めて確認できたことはよかったと思う。おそらく機微な内容の質問をしたかった参加者もいたと思われるが、収録をしていたため、ずいぶんと遠慮があったことと思う。収録をするパートとしないパートを設けておいたほうが良かったのかも知れない。

また参加したいと思いますか？

ぜひ参加したい	2名
参加したい	5名
どちらとも言えない	1名

参加したくない	0名
まったく参加したくない	0名

備考・自由記入

- ・ 毎回参加できるかどうかはわかりませんが、できることがあれば協力したいと思います。
- ・ 今回であった参加者に次回以降でのご自宅へのお誘いを受けているため
- ・ 個人的には、民俗学の見地から、無形文化の記録をしておきたいと思う。

ご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのご記入下さい。

- ・ 一日目の振り返りで残念なことがあり、少々モチベーションが下がっておりますが、めげずに続けて行きたいと思います。
- ・ (1) 民俗学のアプローチから地域のコミュニティが祭りや消防団活動から形作られ維持されて来たことが末崎地区においてもそうであることが具体的に示される機会であったため、プログラムのはじめに、「ごいし民族誌」の勉強会を開催し、そのあとで、祭りや消防団活動のプログラムへ展開する体系が、プログラムの有機的関係性が示される効果が期待される。
 - (2) 宗教については、神道・仏教その他地域の布教・歴史及び祭り等の催事、住宅設計、気仙大工、酔仙酒造に展開されると、まっさき地区にフォーカスした、kk2プログラム間に物語性があぶりだされ、本活動の主旨が参加者へ訴求され、次回開催に対する興味関心を誘引する効果が期待される。
 - (3) 消防団については、まっさき地区における現状と歴史および課題が述べられ、この課題を解決するためにその他全国各地の消防団の取組みが紹介される建て付けがされることでプログラムの目的がより明確になることが期待される。本プログラムのターゲットの設定にもよるが、まっさき地区消防団が抱える課題と、紹介された他地域消防団の取組みとの相関が分かりにくかった。また、参加された方々の参加の目的意識と、主催側の意図に乖離があった印象を受けた。消防団の歴史解説において、消防団の使命と、まっさき地区の過去の災害での活躍が示され、いかに地域に根ざした重要なものであるかが述べられ、最後に住民の方から感謝の言葉述べる構成であればより一層価値が高まったものと期待される。
- 【事務局運営について】
 - ・ プログラム準備、プログラム進行、プログラム前後、プログラム間のスタッフの役割のWBSとタイムテーブルを作成してはいかがでしょうか。
 - ・ 始めて参加される方は、具体的な作業指示を受けたないとなかなか行動ができませんので、少なくとも次に何をしなければならぬのか、その為に今は何をしなければならぬのかを明示し、自主性さえあれば自己判断で役割を担うことができるツールとしても、その提供は有効ではないでしょうか。
 - ・ 反省会は、参加者の意見などをホワイトボードに書き出す、またはワード入力してプロジェクトに投影しながら前提、用語定義、論点を確認しながら進めてはいかがでしょうか。参加者の主張に対しては否定せず、まず、傾聴し、記録し、主張内容の確認をして、前提・用語の定義を進めながら、主張内容の前提の誤解や論理矛盾があれば、補正しながら、真にkk2のプログラムの改善に寄与する意見を抽出する位置づけにはいかがでしょうか。次回以降、参加させていただけるならば上記提案業務に従事させて頂きたく存じます。
- この度は、参加条件である事前説明会を欠席したにも拘らず、参加させて頂きどうもありがとうございました。
- ・ 初日夜のお疲れさん会に引き続き行われた反省会にて、事務局が参加者の発言に対して怒鳴り返してしまったことは、その参加者並びに同席されていた方々にたいへん不愉快な思いを与え、場を壊してしまい申し訳ありませんでした。ご批判、ご指摘は冷静に謙虚に受け止め、さらにご批判を引き出したり、他の方のご意見やご指摘もうかがい、落ち着いてご説明できることは説明しコミュニケーションを深めたり、改善方向を見出さなければならぬところでした。そういう頭が回らなかったことを大変反省しています。これは自分に何か根本的な考え違い、勘違いがあるからだと思いますので、改めて深く考えたいと思います。ともあれ、今後、このようなことがないよう心がけますので、引き続きご協力いただければ幸いです。
- なお、事務局としてプログラムの内容や経緯を事前に参加いただく活動スタッフの方々にきちんと伝え、情報共有しておくという面でも、不十分な対応で失礼しているように思います。今回、7月活動中止に伴う再チャレンジということもあり、初日の2つのプログラムとも、現地側責任者と講師との間の趣旨や目的の共有、参加者層とプログラム内容のすり合わせなどは行いました。現地責任者、講師の双方が超多忙にもかかわらず事務局調整にご対応いただきました。従いまして現地リーダーや講師にはずいぶんお手を掛けましたが、現地側のニーズや参加者の関心には、かなりの部分応えられたのではないかと考えています。本当のところはアンケート結果や今後のコミュニケーションに委ねたいと思います。
- ・ 「パソコン・ネットよろず相談」「ごいし民俗誌」「絆づくりと地域を守る消防団」他のプログラムを、同じ日程で行う制約を解き、現地ニーズに沿って各々プログラムを計画し、同行するスタッフ間でミッションがずれないように努力する必要がある。
- ・ プログラムへの参加と同時に、居場所ハウスや運営委員会の様子などを見せていただいて、末崎地区の状況を知る貴重な機会になりました。今後の調査を、碁石～末崎地区で進めるかどうか、まだ検討中ですが、いずれにせよいろいろな面でご協力したいですし、また、こちらの方もお世話になるかと思えます。今後ともよろしくお願ひします。
- ・ 今年度初の参加ということで、どのように活動するのか不安もありましたが、結果スタッフの顔ぶれがあまり変わらないことから、スムーズに活動できました。一方、自らの反省でもありますが、新規の方へのフォローが手薄であったと感じました。これまで以上に主体的に仕掛けていく活動が増えている中、事務局の方の負担が増えたらしくるのではないのでしょうか。今後の活動については、東京での事前の打ち合わせを複数回行うことによって当日の仕事分担だけでなく、活動方法についてのアイデア出し等、活動スタッフを活用することがあっても良いかと思えます。最後になりますが、今回も大変お世話になり、どうもありがとうございました。
- ・ 国の予算が付いているという本年度活動の趣旨徹底と、各回のプログラムが、事業目的のどれに合致し、どのような進捗が求められ、これに対する成果物は何かを明らかにすべき。また成果物が報告書であるならば、収録以外の内容も何らかの形で記録しておくことが必要。もし視察をしたならば、各人からメモレベルで構わないので報告をもらうべき。フォーマット化した報告用紙の作成と事前配布をしておけば、報告の回収が図りやすいのでは？ 項目案は、視察日時、面談者もしくは場所、視察レポート、意見具申など。

学びを通じた被災地のコミュニティ再生支援事業
大船渡市「デジタル公民館まっさき」 平成 26 年 9 月活動報告

PC ネットよろず相談 現地参加者アンケート結果 (回答 4 名)

9月2日(火)
10:00~12:00、13:00~16:00
現地参加者：7名

あなたの性別を教えてください。

男性	3名
女性	1名

あなたの年代を教えてください。

20歳未満	0名
20~35歳	0名
35~49歳	0名
50~64歳	0名
65歳以上	4名

末崎活動(PC、竹とんぼ、寄席、音楽会、映画会等)への参加回数を教えてください。

初めて	0名
2~4回	0名
5回以上	3名
10回以上	1名

お住まいはどちらですか？

末崎町内	4名
それ以外	0名

本日の参加プログラム全般についていかがでしたか？

とてもよかった	3名
よかった	0名
どちらでもない	1名
あまりよくない	0名
よくない	0名

また参加したいと思いますか？

ぜひ参加したい	3名
参加したい	0名
どちらとも言えない	1名
参加したくない	0名
まったく参加したくない	0名

今回のプログラムを何で知りましたか？

KK2 の Web サイト	0 名
メルマガ・DM	0 名
看板・チラシ	0 名
友人・知人経由	1 名
デジタル公民館まっさきの Web サイト	1 名
前回参加した	0 名
フェイスブック	0 名
館報まっさき	2 名

ご自宅でパソコンは持っていますか？

持っている	4 名
持っていない	0 名

ご自宅にインターネット回線はありますか？

ある	4 名
ない	0 名
準備中	0 名

普段パソコンでしている事、今後覚えたい事を、「内容」ごとに教えてください。(複数回答)

	している事	覚えたい事
インターネットの閲覧	3 名	0 名
メール	2 名	0 名
フェイスブック	2 名	0 名
ブログ	1 名	0 名
ホームページ作成	2 名	1 名
文章作成	3 名	0 名
写真保存	3 名	0 名
計算ソフト	1 名	1 名

第二回「ごいし民俗誌」勉強会 現地参加者アンケート結果

現地参加者：10名（内回答者9名）

あなたの性別を教えてください。

男性	7名
女性	2名

あなたの年代を教えてください。

20歳未満	0名
20～35歳	0名
35～49歳	1名
50～64歳	3名
65歳以上	5名

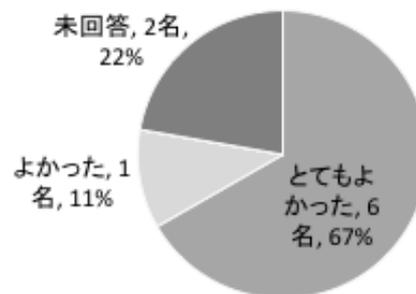
お住まいはどちらですか？

末崎町内	9名
それ以外	0名

本日の参加プログラム全般についていかがでしたか？

とてもよかった	6名
よかった	1名
どちらでもない	0名
あまりよくない	0名
よくない	0名
未回答	2名

感想



今回のプログラムを何で知りましたか？(重複回答)

館報まっさき	4名
友人・知人経由	1名
チラシ	0名
インターネット	2名
その他	2名

ご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのでご記入下さい。

- ・ 熊野神社絵図の解説が興味深かった。やはり専門家はずごい。
- ・ 先生方のご苦勞を身につまされる程感激でした。これから追加の必要があれば各項目については適当な人とで分けて聞き取りする必要ありと考えます。
- ・ 泊里の熊野神社について詳しく知れて良かった。泊里と言う集落が誌面に活字として残る事が貴重だと思った。
- ・ 「ごいし民俗誌」のさらなるボリュームアップを計りたい。先生方のご指導をお願いしたい。
- ・ 今回の講演会勉強会は大変内容がよく勉強になった。外部の方々の目から見た将来の末崎のまちづくりを追記してくれる方が私達を持って来町していただければ幸いです。
- ・ とても有意義な会でした。地元と人々がもっと参加して欲しかった。
- ・ 被災後価値観が変わった実感はあるが改めて自分はこの土地にとって何者であるか、自分にとって、家にとって、地域にとって本当に大事なことは何なのか、何を残し、伝えなければならないか 等、深く考えさせられました。考える指針を頂き感謝致します。有難うございました。

「絆づくりと地域を守る消防団」 現地参加者アンケート結果

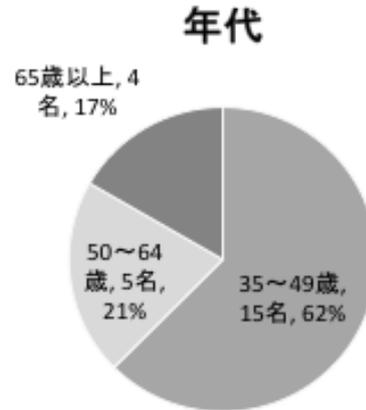
現地参加者：24名

あなたの性別を教えてください。

男性	19名
女性	5名

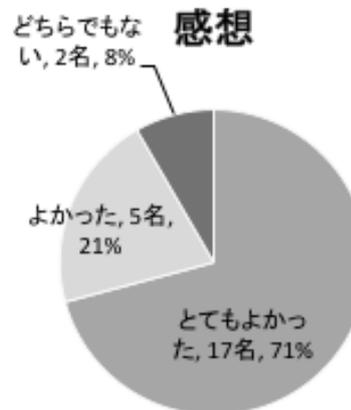
あなたの年代を教えてください。

20歳未満	0名
20～35歳	0名
35～49歳	15名
50～64歳	5名
65歳以上	4名



お住まいはどちらですか？

末崎町内	22名
それ以外	2名



本日の参加プログラム全般についていかがでしたか？

とてもよかった	17名
よかった	5名
どちらでもない	2名
あまりよくない	0名
よくない	0名

プログラムを知った経緯 (複数回答)

今回のプログラムを何で知りましたか？(重複回答)

館報まっさき	7名
友人・知人経由	9名
チラシ	1名
インターネット	1名
その他(消防団)	7名



ご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのご記入下さい。

- ・ 消防の話なのに固くなく、体を動かしながらの講演は楽しいものでした。
- ・ とても楽しかったです。機会があったらまた企画して欲しいです。
- ・ 具体的な活動の様子をもっと聞きたかった。
- ・ 鎌田さんが楽しい人でよかった。
- ・ 元気になれる良い話でした。もっとたくさんの方に聴いてもらいたいと思いました。
- ・ 鎌田講師の話術とポイントをしっかりわかりやすく指導いただきとても楽しく学ぶことが出来ました。
- ・ とても楽しい時間でした。ありがとうございます。
- ・ 大変楽しい時間を過ごさせてもらいました。
- ・ 気持ち次第で、力の出方に違いが出るのに、初めてわかって、びっくりしました。とても楽しかったです。